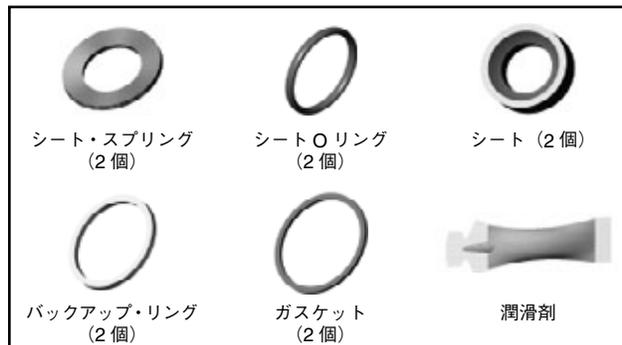


### シート・シール・キット



### ステム/シート・シール・キット



### 必要な工具

小型の非金属製ピックも必要に応じて使用します。

部品	工具		サイズ
バルブ・ボディ	ベンチ・バイス		—
	スパナ		1 1/2 インチ
エンド・スクリュー	スパナ		1 3/16 インチ (30 mm)
	クローフト・レンチ		
	ソケット		13/16 インチ
パッキン・ボルト	ソケット		
パッキン・ボルト、 エンド・スクリュー	トルク・レンチ		トルク値：68 ~ 79.1 N・m

### ⚠ 警告

バルブをシステムから取り外す前に、必ず以下の作業を行ってください。

- システム圧力の開放 (システムの圧抜き)
- バルブの開閉
- バルブのパージ



取り扱い説明書に従って作業を行う場合は、**図 1** を必ず参照してください。

エンド・スクリュー・アセンブリーは、一方のメンテナンスが完了してから、もう一方のメンテナンスに進んでください。

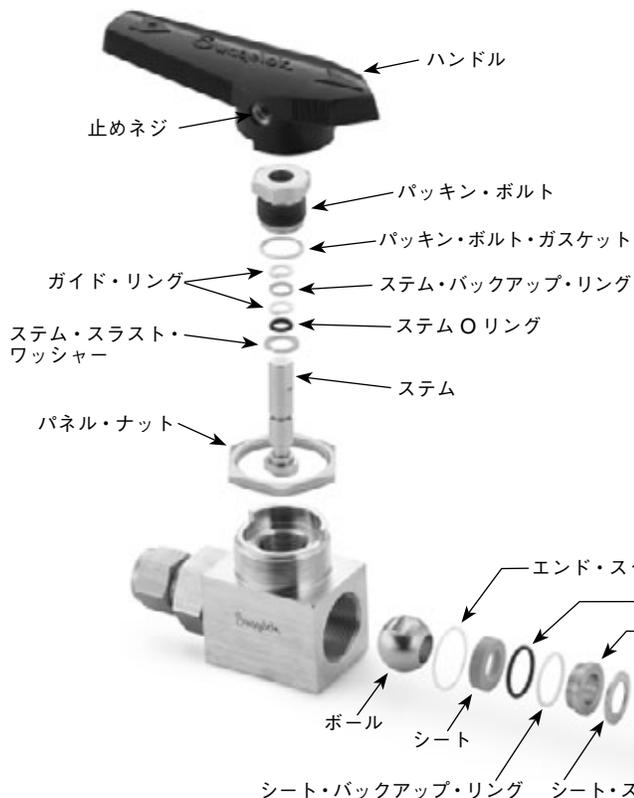
## バルブの取り外し方法

### シート・シールの取り外し方法

1. バルブをシステムから取り外します。ハンドルをまわして「開」状態にします。
2. バルブをバイスに固定するか、1 1/2 インチ・サイズのレンチを使用してボディを固定します。
3. 一方のエンド・スクリュー・アセンブリーを緩め、ボディから取り外します。
4. シート、シート O リング、シート・バックアップ・リング、シート・グランド、シート・スプリング、エンド・スクリュー・ガスケットをエンド・スクリューから取り外します。(外れにくい場合は、小型の非金属性ピックまたは同様の工具を使用します。) 取り外したコンポーネントは、シート・グランドとエンド・スクリュー以外、すべて廃棄します。ステム・シール・コンポーネントを交換しない場合は、**再取り付け方法**に進んでください。

### ステム・シールの取り外し方法

5. ハンドルをまわして「閉」状態にします。
6. ハンドル止めネジとハンドルを取り外し、別途保管します。
7. ボールを取り外し、別途保管します。
8. パッキン・ボルトとパッキン・ボルト・ガスケットを緩め、バルブ・ボディから取り外します。パッキン・ボルト・ガスケットをパッキン・ボルトから取り外し、パッキン・ボルト・ガスケットを廃棄します。
9. ステム・アセンブリーをパッキン・ボルトから取り外します。



10. ステム・ガイド・リング、ステム・バックアップ・リング、ステム O リング、ステム・スラスト・ワッシャーをステムから取り外し、廃棄します。

## 再取り付け方法

1. シート・グランド、エンド・スクリュー、パッキン・ボルト、ステム、ボールから、潤滑剤と汚れをすべて取り除きます。

### ステム・シールの再取り付け方法

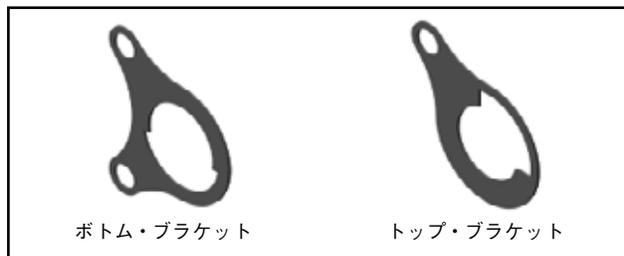
2. ステム・スラスト・ワッシャー、ステム O リング、ステム・バックアップ・リング、ステム・ガイド・リングに付属の潤滑剤を薄く塗布します。
3. ステム・スラスト・ワッシャー、ステム O リング、ステム・バックアップ・リング、ステム・ガイド・リングをステムに取り付けます。  
注意：ステム・バックアップ・リングは面取りした側を上に向けてください。
4. ステム・アセンブリーをパッキン・ボルトに挿入します。  
注意：ステム・アセンブリーをパッキン・ボルトに挿入する際、コンポーネントを挟み込まないように注意してください。
5. パッキン・ボルト・ガスケットをパッキン・ボルトに取り付けます。
6. パッキン・ボルトをバルブ・ボディに取り付け、トルク値：68～79.1 N・m にて締め付けます。
7. ボールに付属の潤滑剤を塗布します。ボールをボディに取り付けます。その際、ステムの突出部とボールのくぼみを合わせます。  
注意：バルブをまわして、ボールとステムの位置が合っているか確認してください。

### シート・シールの再取り付け方法

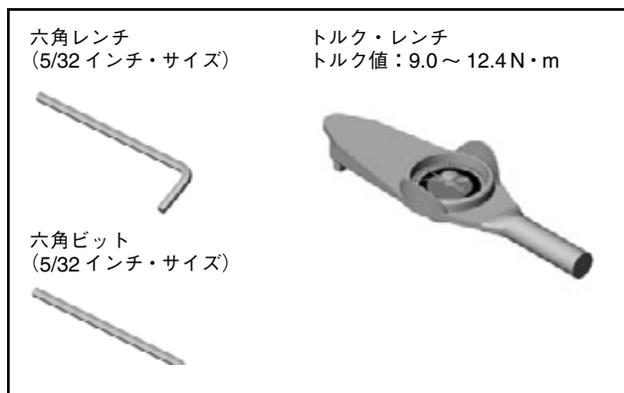
8. シート、シート O リング、バックアップ・リング、シート・グランドに付属の潤滑剤を薄く塗布します。
9. 図のように、シート・スプリング、シート・グランド、バックアップ・リング、シート O リング、シートをエンド・スクリューに挿入します。
10. エンド・スクリューのシール面にエンド・スクリュー・ガスケットを取り付けます。
11. エンド・スクリュー・アセンブリーをボディにねじ込みます。エンド・スクリューをトルク値：68～79.1 N・m にて締め付けます。
12. 必要に応じて、もう一方のエンド・スクリュー・アセンブリーにも同じ手順を繰り返します。
13. ハンドルを元に戻し、止めネジをハンドルにねじ込みます。止めネジをトルク値：9.0～12.4 N・m にて締め付けます。
14. バルブが正常に作動するかどうか、かつ漏れがないことをテストします。

図 1

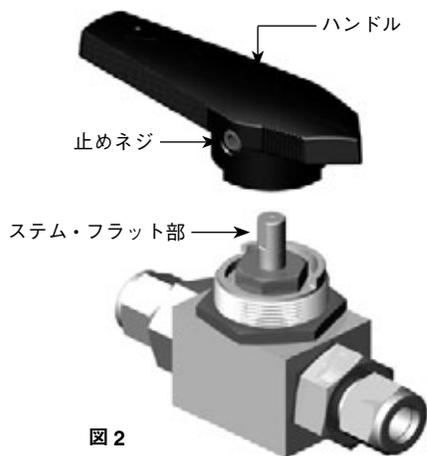
## ロッキング・ブラケット・キット



### 必要な工具



1. ハンドルの止めネジを緩めます (図 2)。
2. ハンドルを取り外します。



3. ボトム・ブラケットの切り込み部をバルブのノッチに合わせ、ボトム・ブラケットをバルブ上に取り付けます (図 3)。

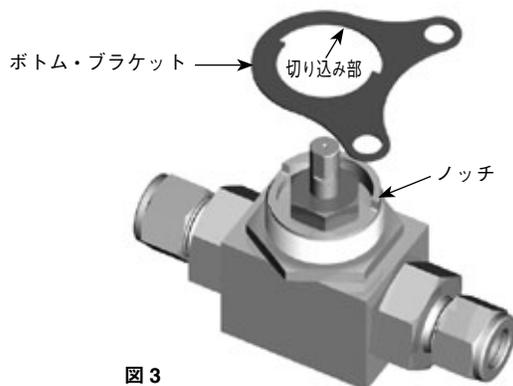


図 3

4. ハンドルを裏返し、トップ・ブラケットの切り込み部をハンドルのノッチに合わせ、トップ・ブラケットをハンドルの底部に取り付けます (図 4)。

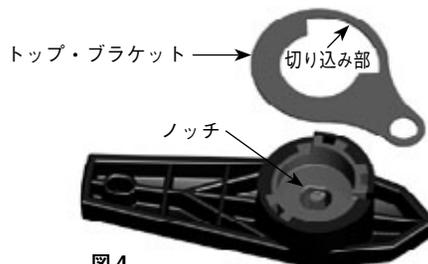


図 4

5. トップ・ブラケットをハンドルに押し当てた状態で、ハンドルを上下正しい向きに戻します。バルブ・ステムのフラット部と止めネジの位置を合わせ、ハンドルをステムの上に置きます (図 2)。

**注意：**正常に動作させるためには、トップ・ブラケットのバドロック・ホール (南京錠用穴) の位置をボトム・ブラケットのバドロック・ホール的一方に合わせる必要があります (図 5)。ホールの位置が合わない場合は、ハンドルを取り外して手順 3 ~ 5 を繰り返します。

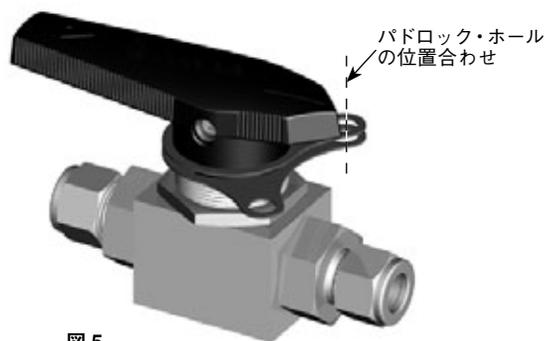


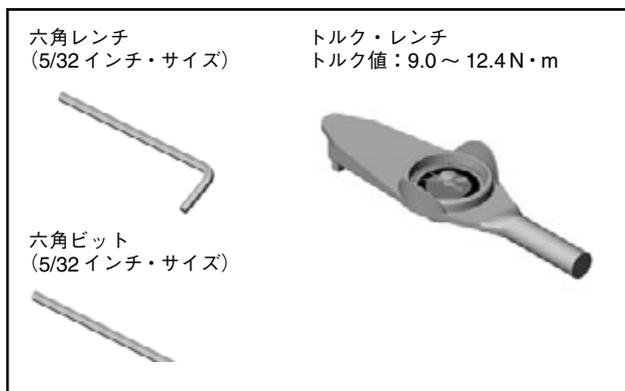
図 5

6. 止めネジをハンドルにねじ込み、トルク値：9.0 ~ 12.4 N·m にて締め付けます。
7. バルブが正常に作動するかどうかをテストします。

## ナイロン製ハンドル・キット



### 必要な工具



作業を行う際は、**図6**を必ず参照してください。

1. ハンドルの**止めネジ**を緩めます。
2. **ハンドル**を取り外します。
3. バルブ・ステムの**フラット部**と**止めネジ**の位置を合わせ、未使用の**ハンドル**をステムの上に置きます。
4. **止めネジ**をハンドルにねじ込み、トルク値：9.0～12.4 N・mにて締め付けます。
5. **バルブ**が正常に作動するかどうかをテストします。

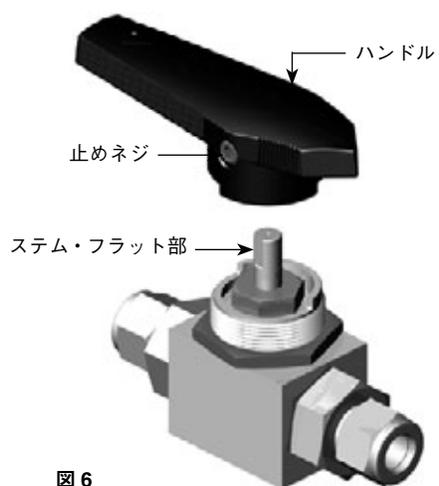


図6

この日本語版製品カタログは、英語版製品カタログの内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

Swagelok — TM Swagelok Company  
© 2004, 2005 Swagelok Company